

「公私混同って何！」 - 自立にとって大事な「公」「私」の区別 -

おはようございます。

今日は、この「公私混同」ということについてお話したいと思います。

さて、この「**公私混同**」とは、**公の場所に私事を持ち込むこと**を言います。それは、みなさんが生活していく中で、「**公**」の場では「**私**」を**押さえてルールやマナーを守って行動することが大切**だということです。また、みなさんが、将来世の中に出て一人前の社会人として生活していくためには、誰もが身につけておかなければならない大切なことだともいえます。

学校は、小さな社会であり、公の場所でのことを学ぶ所でもあります。たとえば・・・、
○**3年生は、先日の修学旅行での班行動や宿舎で、自分のわがままを我慢して班のみんなと協力することや社会のルールやマナーを守ることの大切さを学びました。**

○**2年生は、職場体験で様々な事業所の方々と共に仕事をする中で、「こんにちは。ありがとうございます。」というあいさつや礼儀、また、働く場所でのきまりを守ることの大切さや大勢の方と協調することの大切さを学んだのではないのでしょうか。**

○**1年生は、7月12・13日と中学生になって初めての宿泊を伴う野外体験に出かけます。大勢の仲間と寝食をともにする中で、自分のわがままを我慢することや、班行動でみんなで協力することの大切さや教室の中では味わえない体験を学んできてほしいと思います。**

では、毎日の学校生活における公の場所について考えてみましょう。

校長室や事務室へは、毎日区役所の方・地域の方・PTA役員の方などたくさんのお客様がみえます。職員室は、先生方が授業のための準備をしたり、副校長先生が事務処理をしたり、様々な方との電話対応をしています。保健室は、具合の悪い生徒が休む場所です。主事室は、主事さん方のお客様への対応や作業後の休憩場所になります。すなわち、**1階にある校長室・職員室・主事室・事務室・保健室は公の場所**ということになります。したがって、**その前の廊下も公の場所**になります。

「廊下は、静かに歩きましょう」という掲示があります。各学年主任や担任の先生から指導されたことによりだいぶ減ってきてはいますが、残念ながら、まだ**「1階の廊下を走ったり、大声で話していく生徒」**がいます。**生徒同士でも互いに声を掛け合い、注意し合うことで、公の場所という意識が芽生えてくる**のではないのでしょうか。

最後に3年生、先日9校の高校の先生方をお呼びして進路説明会がありました。これから先、自分の進路選択に向けて大切な時期になっていきます。ほとんどの高校が面接試験を行います。この面接は10分とか15分程度の短い時間のものが多いのですが、**面接官にしてみれば、この時間さえあれば、服装や態度、その言葉遣いや受け答えでその人のだいたいのことはわかる**そうです。今日お話した「公の場所ですぐ自分にとるべき行動や態度」を普段から心がけ、十分に身につけられるようにしてください。

以上で本日の朝礼講話を終わります。